

果は口やかましい叱責等よりはるかに大きいものがあるのではないかと思ふ。殊更に駄目を押さなくとも子供の心は感じる。自然に大きな効果を期待出来るのもうれし。

繪のお帖面は、幼稚園で三人の女の子の前に畫いた繪のお帖面を出して、順々に見てゆき遠足のこと、夏休のこと等いろ／＼想ひ出して楽しく話しあふのである。これは實際あり得ることであり、子供の様子とその繪が如何にも可愛らしく表はれて來て微笑ましくなる。しかしこれは大人が讀んでの感で、子供にとつてはどうであらうか。自分の繪のお帖面をみては、この話に表はれる子供以上に豊かな想出と活潑な發表力を持つ子供でも話として單に聞かされる時にどれ程の共感を持ち得るか疑問だと思ふ。幼兒の身邊から取材することは誠に希ましいことであるがそれを如何に構成し、如何に表現するかに我々の大いに研究せねばならぬところがあると思ふ。

鳥と獸の戰爭 鳥と獸の戰爭で兩方とも一生懸命に戦つてゐる時に、蝙蝠だけは獸の仲間になつたり、鳥の仲間に入つたりして戰の度に勝つた側についてゐたので、鳥獸仲なほりのお祝の時にはたう／＼兩方から斷はられてしまつたといふお話。戰爭の始まる前鳥獸の勇み立つ様子、戰の様子、それ／＼得意の武器などなか／＼精しく巧みに描かれてゐる。これは此方が話して聞かせるだけでなく、子供に尋ねて發表させそれ／＼の鳥獸の特長をつかませること等をしながら話をすゝめてゆく事も面白いであらう。子供の發表には此方もなか／＼教へられる事が多いものである。

戰爭の様子が懐懐、殘虐に互らぬやう注意すべきである。

## 手技

及川ふみ

十一月も十月にひきつゞき屋外保育のよい季節である。自然觀察にいろ／＼の材料の多い時であるからつとめて幼兒の注意をそちらに向ける様に保育案も作りた。

この觀察はやがては、直接間接に幼兒の生活の内容を充實させる爲に役立つことは云ふまでもない。庭園に咲く秋草の印象は自由畫となつて表現されて來ることもあらうし、蟲取りにうち興じた後では、とんぼ、ばつたなどが仕事の材料となつて作られることも期待出来る事である。

又拾ひあつめた、木の葉、木の實で自然物おもちゃの作られるのも云ふまでもない事である。木の葉、木の實を材料としたおもちゃを一二あげて見ると

### 木の葉のお皿

粘土を一センチから二センチ位の厚さにのばして出来るだけ平な面にしておく。幼兒のすき／＼の木の葉を拾はせて、砂や泥をよく洗ひ落しておく。平な粘土の上にこの木の葉をのせて木の葉のどこの部分も同じやうに、上からおさへる。粘土ペラで周圍の餘分の粘土を切りおとす。木の葉の周圍を少しづつもちあげてお皿の恰好をつける。葉柄をもちあげて粘土から木の葉をはなして見る。形よく大小の葉脈がついてゐると綺麗でよい。もしも上か

らの押へ方が弱かつたり、押へ方がむらであつて形がよくついでないところがあつたりすれば今一度やり直すことにする。粘土をまるめて平にし直して、木の葉の粘土を洗ひおとして始めと同様な方法を繰り返かへして見る。上手に出来ても下手に出来ても一度でやめないで二三枚お皿を作つて見るとよい。又形の異つたものを作る事もよい。

木の葉のお皿も、お皿の恰好を木の葉にするのと、今一つはお皿の恰好は丸でも角でも任意のものを作つておいて、前述の通りに木の葉をのせて形をつけてお皿の模様としてもよい。前者は比較的大きい葉で周囲のぎざぎざの簡單なものを材料とするとよいし、たと模様にする後者の方は小さい葉であれば何でもよい。

#### 木の葉の模様

自由畫の帖面に通常の大きさに周囲をとつて、拾つたいてふほどの葉の中から同じ位の大きさのものを選ばせて並ばせて見る。始めは簡單なもので、同じ方面に並べ、次に一つおきに向をかへるとか少しづつ複雑なものにする。又材料もものによつては葉だけでなくて、葉と實とをとり扱つてもよい。木の葉をならべて遊ぶことだけでも一つの遊びであるが、それを自由畫の帖面に寫させて、かゝせて見る。始めは形だけでよいが、次に色をぬらせて見る事もよい。紅葉した美しい様々の實物の色は直接によい色のお手本である。そうしてぬられた美しい千代紙でお人形の着物を作つたり、箱はりの紙にしてもよい。

#### 藁のおもちや

藁の人形、藁の馬なども古くから作られるおもちやであるが田舎などで藁が手軽に手に入ればよいが都會などでは僅かな材料よりのぞめないところでは、藁が二三本で出来る藁の刀や、手ふり藁人形位のものがよい。

自然物おもちやは場所により、季節によりその材料がいろいろであるから各自の幼稚園がその得られる材料を使つて幼児たちを喜ばせるおもちやを作つてもらひたいものである。

#### 科學的なおもちや

幼児たちにつけて與へたり、又自ら作らせるおもちやについて、その材料が何であつても科學的なものを少しでもとり入れてそれについての關心を幼い頃から育てたいといふ事である。

幼稚園の特技の材料のうち、この科學的なものといふことを目標にして考へて見るとどんなものがあるであらうか。保姆も幼児もこれには全く氣づかずに作つたり、作らせたりしてゐる材料が數々ある事である。科學的な考想を養ふといふ事は大切な事であるのは誰もが考へてゐる事である。たと幼稚園の幼児たちに對しては、どの程度のことをするかと問題であらうと思はれる。從來どここの幼稚園でも保育所でもしばしば作られてゐる風車などは至つて簡單ながら科學的なよいおもちやである。風車が科學的なよいおもちやであるといふ事になると又そこで考へられる方もあるかもしれない。今まではたと風車として單に作つたり作らせたりしてゐるが、科學的によい特技の材料であればそれを如何にとり扱ふべきかと云ふ様になつて來るかもしれせん。作りながら、風

車がまはる説明など細々とする事は勿論なくてよいのであるが、作つた風車をもて遊ばせて、風がふいてゐる時はたゞおいておいても獨りてに廻つてゐるし、風がない時には幼児たちが走れば廻る事など實際に廻らせて見る事である。もしもこの時に、廻らなかつたり、或は廻り方が不充分であつたりした場合に、この工合が悪いので廻り方が悪いかを保姆の方で見つけてその時こそこれのためによく廻らないからこゝをこんな工合に直すといふ事を説明しながら直すとよい。

## 誘導保育

### 菊池ふじの

學校ごっこ 第二學期も進み、運動會や遠足が過ぎると、年少組でもお互同志の間のきこちなさが取れて來て、相當心臓な一人のリーダーを中心にして、學校ごっこを始めるのをよく見かけます。この案はこゝを狙つたわけなのです。この子供達が自然にする遊びに、物的にも精神的にも内容を與へ、又永續性をも與へ、併せてこの遊びを利用して此の時期に與へ度い訓練要綱を子供等の間に徹底しやうとするのであります。事實、保姆と幼児との間では仲々理想通りに行かない弊けの問題など、一人のリーダーを中心に子供同志の間に自然に行はれる學校ごっこに於て、いとも容易に行はれてゐるのを見て驚いたことも一切ではありません。例へば、なつ／＼しないで、はき／＼と行動をさせやうといろ／＼試みてみるのに仲々うまくいきませんのに、この學校ごっこで

は、別人かと思はれるぐらゐに活潑に、はき／＼と行動をしてゐるのを見ます。行動だけでなく、ものを言ふこと、お返事はき／＼することなどもこのいゝ例です。それから、以上の他にこの案で狙ふ訓練要綱とはどんなものでせうか。

ものごとをきちんとして整理整頓すること、きちんとした態度、こゝう言つたことが苦もなく行はれます。

併しこの案は如何なる場合にも實施出来るといふことは言へないと思ひます。おとなしい子はかりで、リーダー格の子供のぬない組にさせやうとしても駄目ですし、又内氣なはにかみやさんはいくら先生になるやうに仕向けても到底もなれるものではありませんし、又下手に大人が傍についてゐて始終見てゐては恥しがつてこの遊びは行はれません。この邊のこつがなか／＼大事だと思ひます。

學校ごっこが恥しいながらも或る輝かしい希望に満ちた面持で子供達の間に行はれますのは、學校一國民學校が子供達にとつて憧れの的であるからです。就學前期の幼児に向つて、一も二もなく、もう學校へ上るのだから、といふことを條件とし、或時はたしなめとして持ち出される場合を屢々見聞するのは周知の事實でありませう。

扱て、學校ごっこに於きましては、机の配置なども國民學校式にした方が感じが出ると思ひます。遂ひ先達までは、國民學校の机の配置など、幼稚園式になつて來て居りましたが、この場合には、却つて所謂學校式に並べませう。それから學校用具としてどんな